

1. 【開催案内】中部地区会議学術講演会

「微生物がつなぐ文理融合研究－野生酵母クラフトビールと地域振興」

2. 【開催案内】第6回 RISTEX 総合知オンラインセミナー

「学際研究/共創型研究のすすめ」

～異分野融合において「哲学者」が果たしうる役割：数学・認知科学・神経科学・ロボティクスとの共同研究の実践から

■-----
【開催案内】中部地区会議学術講演会

「微生物がつなぐ文理融合研究－野生酵母クラフトビールと地域振興」

-----■
【日時】2023年12月15日（金）13:00～16:00

【場所】静岡大学静岡キャンパス（静岡県静岡市駿河区大谷836）

【開催方法】対面・オンライン併用開催

【主催】日本学術会議中部地区会議

【共催】静岡大学

【開催趣旨】

2010年代以降日本各地で本格的なクラフトビールの製造が行われるようになってきました。各ブルワリーは製造方法や風味を洗練させるだけでなく、その土地との結びつきを活かし、さまざまな付加価値を付与して、差別化を試みています。

そのようなクラフトビール自体に消費者の関心が集まる一方、クラフトビールツーリズム、つまりブルワリーやビアバー巡りによる観光とそれによる地域づくりも注目されるようになってきました。

日本におけるクラフトビールづくりの最先端のひとつが、植物の花などから採取した酵母（野生酵母）を用い製造する試みです。地域の名所、なかでも歴史的に由緒ある寺社や史跡などや、地域住民の愛着ある場所から、野生酵母を採取してクラフトビールに活用すれば、物語性を伴った地域の名産品を生み出せるのではないかと。そして大学がこのような取り組みに関われば、野生酵母という微生物を介して、生物学、歴史学、経済学、倫理学等による文理融合研究が可能となり、それを通じて地域に貢献できるのではないかと。

今回の学術講演会では、上記の意図により、静岡大学と静岡市、地元企業など産官学が協働して行っているクラフトビールプロジェクトを紹介し、その理論的・実践的意義について個別事例を超えて考えていくことをテーマとしています。

【プログラム】<https://www.scj.go.jp/ja/event/2023/357-s-1215-2.html>

【参加費】無料

【申込み】要・事前申込み（締切 12/8）。以下の URL からお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/wNSqUywQwy>

【問合せ先】日本学術会議中部地区会議事務局（名古屋大学研究協力部研究企画課内）

Tel：052-789-2039

■
【開催案内】第6回 RISTEX 総合知オンラインセミナー

「学際研究/共創型研究のすすめ」～異分野融合において「哲学者」が果たしうる役割
数学・認知科学・神経科学・ロボティクスとの共同研究の実践から

----- ■

社会の具体的な問題の解決や科学技術の倫理的・法制度的・社会的課題（ELSI）への対応に資する社会技術の研究開発を推進している RISTEX（社会技術研究開発センター）は、学際研究/共創型研究を進めるうえでヒントとなる情報を発信・共有するための総合知オンラインセミナーを開催しています。

第6回は、「哲学」にフォーカスをあて、北海道大学 大学院文学研究院 教授/人間知・脳・AI 研究教育センター長 田口茂 氏をゲストにお迎えし、異分野融合において「哲学者」が果たしうる役割についてご講演いただきます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

<開催概要>

- 開催日時： 2023年12月20日（水）17:15～18:15
- 開催形式： オンライン（Zoom）
- 定員： 300名（無料・先着順）
- 対象： (1)学際研究/共創型研究に関心がある研究者
(2)研究推進に携わる URA、大学・研究機関・民間企業等の職員、省庁・助成団体関係者等
- 参加申込締切： 2023年12月19日（火）13:00
- 詳細・参加申込： https://www.jst.go.jp/ristex/info/event/20231220_01.html

<本件のお問い合わせ先>

国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST） 社会技術研究開発センター（RISTEX）
総合知オンラインセミナー事務局
E-mail： r-info-event@jst.go.jp

日本学術会議 YouTube チャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCV49_ycWmnfhNV2jgePY4Cw

日本学術会議公式 Twitter

https://twitter.com/scj_info

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://jssf86.org/works1.html>

=====

日本学術会議ニュース・メールの転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。過去のメールニュースは、日本学術会議ホームページに掲載しております。

<https://www.scj.go.jp/ja/other/news/index.html>

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

発行：日本学術会議事務局 <https://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34